



開設し、高校生からの学科に対する質問、相談等に対応いたしました。

オープンキャンパスは情報知能システム総合学科の研究の一端を一般の方々に紹介するためのものであるとともに、子供たちの理科ばなれの傾向の指摘されるなかで、中学生、高校生に先端技術の体験を通して、サイエンスのおもしろさを伝える絶好の機会でもあります。携帯電話やコンピュータなどの身のまわりの情報エレクトロニクス技術がどのようなところで生みだされているかを参加してくださった方々は実感されたものと思います。ま



た、参加された方々の多くは高校生で、これからの進路を考えるうえで、オープンキャンパスはかなり参考になるようです。見に来られた高校生の皆さんのなかのひとりでも多くの方々が情報知能システム総合学科に入学してくれることを願ってやみません。

同窓生のみならずにも、現在の私たちの学科が在学当時からどのように変わっているかを見ていただきたいと思います。来年のオープンキャンパスにはご家族づれでおいでいただければ幸いです。(田中和之 記)

国際会議

The Second International Symposium on Bio- and Nano-Electronics in Sendai

平成18年12月9日、10日の2日間にわたり、電子情報システム・応物系101大講義室において標記国際シンポジウムを開催いたしました。本シンポジウムは、平成17年度採択文部科学省「魅力ある大学院教育」イニシアティブ事業「生体・ナノ電子科学国際教育拠点」(電子工学専攻、電気・通信工学専攻、応用物理学専攻)の一環として行われた2回目のシンポジウムで、東北大学電気系21世紀COEプログラム「新世代情報エレクトロニクスシステムの構築」の後援を頂きました。参加者は127名を数え、この分野でご活躍されている海外招待講演者4名(韓国2、米国1、英国1)、国内招待講演者1名、学内10名の口頭発表に加えて、大学院学生を中心に約60件のポスターがあり、活発な議論がおこなわれました。開催にあたりご尽力いただきました各位にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

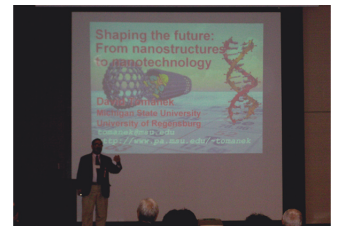
本事業は予定された2年間のプログラムを終了し、平成19年度からは後継プログラムとして、文部科学省大学院教育改革支援プログラム「メディカルバイオエレクトロニクス教育拠点」をスタートさせております。引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。なお、平成20年3月5日～6日には第3回シンポジウムの開催を予定しております。(吉信達夫 記)

21世紀COE主催の第4回合同国際会議

平成19年1月23～25日の3日間、仙台エクセルホ



主会場での発表・討論



招待講演

テル東急において東北大学電気系21世紀COE主催の第4回合同国際会議を開催しました。この合同会議は、今回は最終年度でもあり、毎年10月に開催される大学院生主体のミニ国際会議と1月に開催される国際シンポジウムとを一緒にしたものであり、延べ317名(学内299名、学外28名)が参加しました。海外からの招待講演者18名、事業推進担当者22名、博士課程学生(RA)86名、ポスドク及びCOEフェローが研究論文を発表し、英語で活発な討論を行いました。5年間の研究成果の紹介、デモ及び記者発表も行い、21世紀COEプログラムの最終年度に相応しい盛り上がりでした。

大学院生主体のミニ国際会議は、大学院生の教育の一環として21世紀COEプログラムの重要行事として開催してきました。これまでの3回にわたる企画・準備・実行等の経験を生かして、国際会議を成功裏に終了することができました。今年度は、昨年度と同様に、「学生間の競争意識を高めることにより、本来の主旨でもある国際的な研究成果の発表・討論の技能のさらなる向上を目的」として、昨年度、学生自身が制定した表彰規定に基づいて、第2回「SOIM Best Research Award」の選考を行い、川又研の八巻君、袁君、尾辻研の花辺君の3名が受賞しました。(安達文幸 記)